



さむかわ

議会だより

第 216 号

令和7年11月1日
発行



のぞいてみよう 寒川町議会親子探検ツアー

9 月会議
10 月会議

CONTENTS

- 寒川町議会親子探検ツアーレポート P 2
- 決算特別委員会特集 P 4
- 寒川町のこんなことが決まりました P 9
- 議員9人が町政を問う P12
- 議会トピックス 注目の出来事 P17

「のぞいてみよう 寒川町議会親子探検ツアー」レポート



1. 隊員たちの新発見！ …探検ツアー後の参加者アンケートから

すわ ばしょ
座る場所が
決まっているんだ！

し ばしょ
知らない場所がいっぱい。
こんな場所もあるんだな～

どこもふだんはい
ばしょ しんせん
場所で新鮮だった！

ぎいん へや ひろ
議員の部屋、広かったな～



ぎかい としよしつ
議会の図書室は、
がっこう としよしつ
学校の図書室と
ちが 違ってびっくり！

おとな
大人になったら
せんぎょ
選挙に行ってみいたいな

ぎかい とき
議会がない時でも
だれ てつだ
誰かの手伝いをしていて
えら 偉い！

令和7年8月7日(木)に開催した、「のぞいてみよう 寒川町議会親子探検ツアー」のご報告です。
また、寒川町公式動画ライブラリーで動画を配信していますので、二次元コードからご覧ください！



2. 探検の成果を発揮！



ツアー中は、議員の説明を真剣に聞き、メモを取っている姿が印象的でした。

また、議場に移動して行ったクイズでは、楽しみながら、その成果をしっかりと発揮してくれていました。

3. 例えばこんな問題でした！

「寒川町議会の議席番号は何番まであるでしょうか。」

①15番 ②18番 ③20番

正解は、③20番です。みなさん、知っていましたか。

4. ご参加ありがとうございました！

終了後にお願したアンケートに、隊員・保護者共に協力いただきました。

貴重なご意見を、議会として今後に生かしていきます。

ご参加いただき、ありがとうございました！



特集 決算特別委員会 ～令和6年度決算を認定～

決算審査意見（審査意見書より抜粋）

■ 総体的に見て、適正なもの

令和6年度の予算は、「寒川町総合計画2040」に掲げられる、まちの将来像「つながる力で 新化するまち」の実現を目指し、事業の「選択と集中」により検討・編成された予算でありました。

そのような中、下水道事業特別会計を除く寒川町一般会計及び、3特別会計の決算総額は、歳入で320億2,785万4,214円、歳出では301億5,252万7,688円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額は、17億8,345万4,383円の黒字決算となりました。

そのような状況の中、一般会計の決算額は、歳入で219億5,526万1,041円、歳出で204億1,763万6,976円となり、前年度に比べ歳入では7億490万3,375円、3.1%の減、歳出は2億8,266万2,826円、1.4%の減となっています。

令和6年度は、前年から続く景気の緩やかな回復基調から、高い水準の賃上げや国の経済対策により個人消費の押上が期待されたところでありましたが、賃上げが物価高騰に追いつかず、町民の

暮らしにも影響がありました。そのような状況の中で執行された本決算は、総体的に見て適正なもの判断します。

■ 「住んでいてよかった」と言われるように

町では今後も、義務的経費の増加や公共施設の再編、東海道新幹線新駅の誘致といった大規模事業を控えています。既存事業の徹底した見直しによる歳出の一層の適正化に取り組むなど、町民の皆様からの負託に応えるべく、持続可能な魅力あるまちづくりを進めることで「住んでいてよかった」と言われるよう、効率的かつ効果的な行財政運営が進められることを期待します。

なお、審査の過程において、各委員からの指摘や意見等については十分勘案し、今後の予算編成、執行にあたられるよう要望し、審査意見とします。



◀ 本会議の映像



◀ 審査意見書全文

決算特別委員会 審査の流れ



決算特別委員会
黒沢 善行 委員長（公明党）

日 程	内 容
1日目～4日目	各課等から説明を受け、質疑を行う
5日目	総括質疑の後、討論・採決を行う

黒沢委員長のワンポイント解説 【総括質疑】

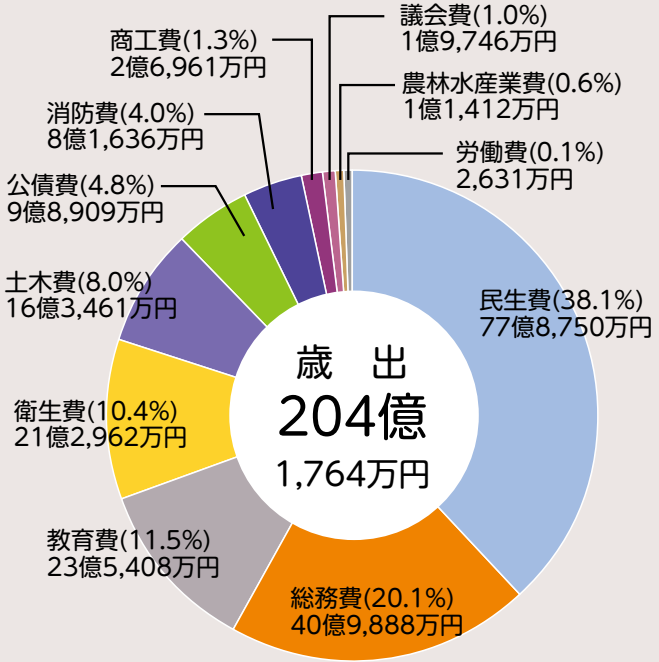
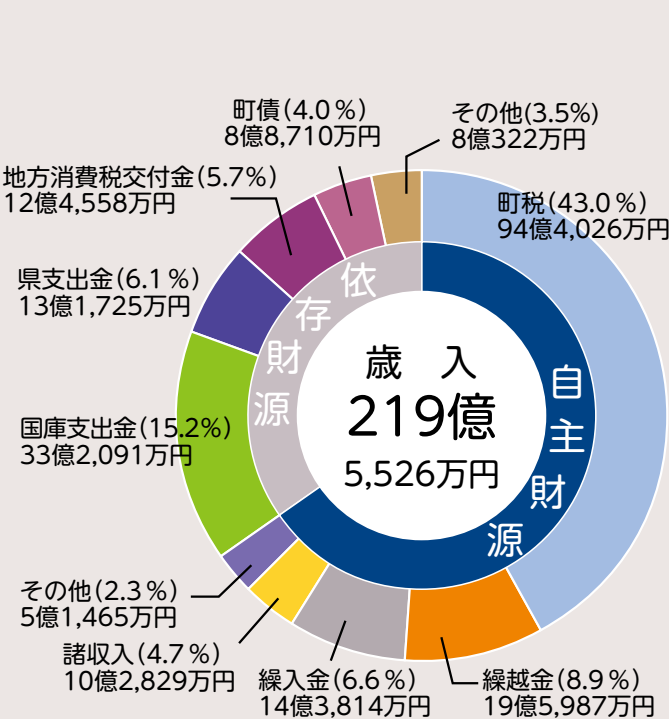
総括質疑とは、1日目～4日目に質疑を行った中から、より深く追いたい内容について、再度質疑を行うことです。

各委員の総括質疑の内容の一部を、6～7ページに掲載していますので、ご覧ください。

決算特別委員会が設置・開催され、5日間にわたる決算審査の結果、令和6年度一般会計および各特別会計歳入歳出決算を認定しました。



一般会計 予算概要



※金額と構成比(%)は、表示単位未満を四捨五入しています。

特別会計 決算概要

特別会計は、税金を中心とした収入により行政サービスを行う一般会計とは異なり、国民健康保険のようにそれぞれの保険料などで運営しています。下水道事業については、公営企業会計を採用しています。

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	47億9,320万円	46億7,731万円	1億1,589万円
後期高齢者医療事業	13億7,832万円	13億4,294万円	3,538万円
介護保険事業	39億107万円	37億1,464万円	1億8,643万円

区分		収入額	支出額	差引額
下水道事業	収益的	13億5,879万円	13億2,875万円	3,004万円
	資本的	3億5,087万円	7億7,045万円	▲4億1,958万円

※資本的収支の不足分は、留保資金などで補っています。

電車内のドア横広告掲出を検討しては



横手 旭 委員
(自由民主党)

❓ 電車内の広告には、自主視認性、連続的かつ日常的・反復的な広告訴求、リーセンシー効果、セレンディピティマーケティング効果の4つの効果があると言われている。町の認知度を向上させるため、JR東日本の首都圏全線に対するドア横広告掲出を提案するが、町の見解は。

❓ 電車内広告は、人の流れの都市回帰や都市部の人口が増加している中で、広域的に多くの方々の目に触れる手段であると考えています。

一方で、広告費用や掲出期間、対象とする利用者層との適合性など、具体的な条件を精査して判断していく必要があると考えています。

今後、費用対効果を踏まえながら、活用の可能性について研究していきたいと考えています。

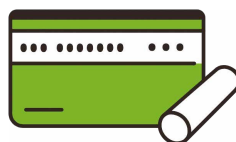


町民の信託に応える基金の債券運用を

❓ 町が保有する各種基金の運用は厳格な管理が不可欠であり、また、基金の債券運用は限られた財源資源の中、貴重な財源の一つになると考える。

基金の債券運用に係る規定の策定や、投資委員会の設置をはじめとしたガバナンス体制の整備について、町の見解は。

❓ 基金運用における安全性、流動性、収益性、透明性は重要な要素であり、町としても重視する必要があると考えます。今後、ファイナンシャルアドバイザー等の専門家へ相談し助言を求めるとともに、他自治体の先進事例を参考に、具体的な運用規定や投資基準、投資委員会等の設置を含め、必要性について調査研究を進めていきます。



福岡 正也 委員
(大志会)

福祉タクシー券利用者の声 町の受け止めは

❓ 福祉タクシー券の利用者から、1回の乗車における利用枚数の制限の撤廃や、他の市町村のように自動車税減免との併用を可能とすること、個々の希望に応じた利用ができるようにしてほしいといった、率直な声を聞いている。町は、このような町民の声をどのように受け止めているのか。

❓ 町では、福祉タクシーの利用助成の他にも、電車やバス、タクシー運賃の割引制度がある中で、用途に応じて制度を選択し利用いただくことが望ましいと考えています。

また利用者の声については、障がい者の社会参加および生活圏拡大の促進を目的としていることをしっかりと周知した上で、利用実態や近隣自治体の状況を鑑み、引き続き検討していきます。



茂内 久代 委員
(大志会)



着実な農業生産基盤の整備を



馬谷原 光織 委員
(フォーラム寒川)

Q 遊休化した農地の数や面積をこれ以上増加させないためには、相模川左岸用水路といった主要な水路から農業用水を受ける田んぼの用排水路について、申し出のある支障箇所から優先順位を付けて修理するやり方では、追いつかないと考える。

年数箇所の補修工事という点の整備ではなく、一定の区域を定めるなど、面での整備を行う時期に来ていると考えるが、町の見解は。

A 農地を遊休化させないためにも、生産基盤の整備は重要であり、整備する上で点ではなく、一定の区域を定めた面で整備することの必要性は理解しています。今後の整備について、財政的な面も含めて、効果的な整備となるよう努めていきます。



下水道使用料改定は最終手段であるべき

Q 令和6年度の下水道料金改定により、経費回収率は95.5%まで引き上げられたものの、町下水道運営審議会の答申では、令和7年度に経費回収率100%とすることが目標とされている。一方で、町のコスト削減は即効性のない長期計画の見直しを中心にあり、このままでは使用料の再改定による、町民の負担増加が危惧される。使用料改定について、現在の町の見解は。

A 引き続き経費回収率100%を目標に取り組んでいきますが、使用料改定の時期については、町公共下水道事業経営戦略を基に、町下水道運営審議会での議論を重ね、判断したいと考えています。



青木 博 委員
(日本共産党)

プロスポーツ選手と接することができる試みを



吉田 悟朗 副委員長
(さむかわ未来会議)

Q 今後、プロスポーツ選手と連携した取り組みについて、町民への露出の機会を増やしてほしいと考えているが、町の見解は。

A 令和6年度においても一定の取り組みを行ってきましたが、従来のチームや選手の紹介を主軸にした一方通行型の取り組みからさらなる発展を目指すものとして、選手の人となりに近づけるような、双方向的な密度の高いイベントの開催を検討しています。

このような事業を通じて、夢にチャレンジすることの重要性を学ぶ機会を提供し、町民との関係を深めることを考えています。



令和6年度決算を 討論

二次元コードから本会議の
映像をご覧ください。



賛成 大志会

「つながる力で新化する まち」に資すると評価

町総合計画2040第1次実施計画の総括としてその取り組みや成果は適切か、町民の生命・財産・暮らしを守るためどのような成果を挙げたのか、適切な予算執行をはじめ持続可能な行財政運営となっているか、という3つの視点で審査しました。

『「高座」のこころ。』にふさわしいさまざまな取り組みは、町民生活と地域経済の維持・確保が図られ、町の将来像「つながる力で新化するまち」に資すると評価できます。実質収支は黒字であり、法の各種指標からも財政状況は非常に健全と判断します。

一方、ヤングケアラー支援では、実態と課題をしっかりと把握し、的確な取り組みを進め、福祉タクシー利用助成では、自動車税減免と併用可にするなど環境整備を引き続き進めるよう求めます。

先行きを見通すことが困難な時代ですが、町民が「この町に住んでよかった」と思うさらなる取り組みを期待し、一般会計歳入歳出決算および他の4特別会計決算に賛成します。

反対 日本共産党

財政黒字は 町民のためにもっと活用を

一般会計歳入歳出決算では、黒字を計上する一方、物価高騰は町民の暮らしに影響を与え、町民税が減少しています。学校給食費負担軽減など一時的な対策ではなく、この黒字を町民の暮らしの負担軽減に使えなくてはです。

東海道新幹線新駅整備基金積立金は、より優先度の高い事業へ財源を振り向けるべきです。

スポーツ活動応援事業は、委託先に任せきりで事業の持続可能性にも大きな疑問が残り、成果や将来性が見通せず容認できません。

就学援助は、国の基準を当てはめるのではなく、町独自の柔軟な救済策を講ずるべきです。

学校給食センターについては、効率化により失われた食育の質の低下を重く受け止めるべきです。

以上のことから、一般会計歳入歳出決算について反対とします。

なお、他の4特別会計決算についても町民負担の改善や、国と県の負担を強化すべきという理由などから反対とします。

賛成 さむかわ未来会議

現在から未来に向けた 着実な対応を評価

町総合計画2040にのっとり成果を挙げられたのか、安全・安心な生活の確保と地域経済の維持・回復、町の魅力を高める取り組みが進められたのか、という視点で審査をしました。

子育て支援としての倉見幼稚園認定こども園化に伴う改修工事補助など、さまざまな課題に対応し、将来的な課題である公共施設の再編を着実に実施するための基金も積み立てられ、現在から未来に向けて着実な対応がなされていると判断します。

一方、各種審議会等における町民の声の反映、スポーツ推進、商業振興については、今後、さらに取り組むよう求めます。

地域経済縮小・物価高騰対策の他、子育て支援や教育施策の充実、防災対策、都市基盤整備などの課題に対し、町民の声に寄り添い、住んでいることを誇りに感じ、住み続けたいと思っていただけるような戦略的な取り組みを期待し、一般会計歳入歳出決算および他の4特別会計決算に賛成します。

▼決算特別委員会 委員別賛否結果

委員名	会計区分				
	一般会計	特別会計			
		国保	後期高齢	介護保険	下水道
委員長 黒沢善行（公明党）	—	—	—	—	—
副委員長 吉田悟朗（さむかわ未来会議）	○	○	○	○	○
委員 福岡正也（大志会）	○	○	○	○	○
委員 青木博（日本共産党）	●	●	●	●	●
委員 茂内久代（大志会）	○	○	○	○	○
委員 馬谷原光織（フォーラム寒川）	○	○	○	○	○
委員 横手旭（自由民主党）	○	○	○	○	○

○:賛成 ●:反対（黒沢委員長は、表決に加わりません。）

● 9月・10月会議 ●

寒川町のこんなことが決まりました。

9月会議	会議期間	8月26日から9月25日
10月会議	会議期間	10月2日

9月・10月会議の議案は

町長提出議案・・・・・・・・ 17件

今号ではこの中から
3つを

Pick up

※議案の会議録については、11月下旬にホームページに公開します。

Pick up

〈議案第45号〉

1 ストリートスポーツパークおよび公園整備のため、 債務負担行為を追加します

(仮称)寒川町ストリートスポーツパークおよび(仮称)相模川一之宮公園整備事業において、令和7年度に公募型プロポーザルおよび令和8年度から令和9年度にわたり施設整備を行うため、債務負担行為を追加するものです。

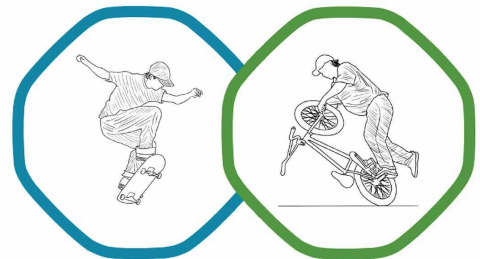
こんな質問がありました

Q 債務負担行為額15億6,427万5千円の財源内訳は。

A 国庫支出金が7億7,542万6千円、地方債が5億9,650万円、まちづくり基金が1億9,234万9千円となっています。

Q 地方債の増加による財政健全性や将来負担について、町の見解は。

A 本補正の内容を加える形で改めて財政シミュレーションを行ったところ、将来負担比率および実質公債費比率は基本計画策定時より若干増加するものの、早期健全化基準に鑑みた観点からは、行政運営は引き続き可能であると考えています。



債務負担行為 ……11ページ「ちょこっと用語解説」で解説！

Pick up

〈議案第45号〉

2

令和8年度以降のサマースクール実施のため、 債務負担行為を追加します

通年の児童クラブにおいて待機児童が生じている状況に鑑み、保育のニーズが特に高い夏季休業期間にサマースクール事業を試行的に実施することで、待機児童の解消につながるかどうかを検証するため、準備期間を含めた令和7年度から令和10年度までの4年を期間とする債務負担行為を追加するものです。

こんな質問がありました

Q 保育料についての考えは。

A 通年の児童クラブの保育料月額を基準に、開所日数から計算した1万7千円を上限として受託事業者が設定することとしています。

Q 通年の児童クラブに所属する児童の参加については。

A 通年の児童クラブとの併用は考えていません。通年の児童クラブの申し込み段階で、通年の児童クラブもしくはサマースクールか、または通年の児童クラブとする場合、4月当初入所分の審査で保留になったときにサマースクールを希望するか、選択していただきます。



Pick up

〈議案第59、60号〉

3

教育委員会委員等が決まりました

教育委員会委員の任期満了により、次の委員について同意しました。また、人権擁護委員の任期満了により、次の委員について適任としました。

教育委員会委員

お 小 川 まさ 雅 こ 子 氏

再任、任期4年(令和7年10月5日から令和11年10月4日まで)

人権擁護委員

み 三 さわ 澤 まさ 正 み 美 氏

新任、任期3年(令和8年1月1日から令和11年12月31日まで)

令和7年第2回定例会 9月・10月会議 審議結果

議案番号	議 案	会派名	自由 民主党	大志会					フォーラム 寒川			日本 共産党		公明党			さむかわ 未来会議		
		議決 結果	杉 崎 隆之 旭	横 手 正也	福 岡 秀樹	山 上 一夫	佐 藤 久代	茂 内 秀輔	小 泉 淳生	廣 田 遊	柳 田 馬谷原光 織	青 木 政博	山 田 真奈美	黒 沢 善行	関 口 光男	吉 田 悟朗	岸 本 優	橋 本 修一	
9月	45 令和7年度寒川町一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	-	○	
	46 令和7年度寒川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	47 令和7年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	48 令和7年度寒川町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	49 寒川町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	
	50 寒川町職員の育児休業等に関する条例及び寒川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	51 町道路線の廃止及び変更	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	52 町道路線の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	53 令和6年度寒川町一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	
	54 令和6年度寒川町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	
	55 令和6年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	
	56 令和6年度寒川町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	
	57 令和6年度寒川町下水道事業特別会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	-	○	
	58 令和7年度寒川町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	59 教育委員会委員の任命	同意	賛成 17票 反対 0票																
10月	60 人権擁護委員の任命	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	61 寒川町健康管理センター代替施設整備事業請負契約に係る変更契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	

○:賛成 ●:反対 (岸本議長は、表決に加わりません。橋本議員は会派に属さない議員です。)

本会議・委員会の記録

本会議・委員会の記録を次の二次元コードからご覧いただけます。

本会議の記録



各委員会の記録



議案・陳情等の資料



ちょこっと用語解説



Q 「債務負担行為」って？

A 予算が複数の年度にわたり必要となる事業について、その事項と期間、限度額をあらかじめ定めるものです。



議会を傍聴しませんか

傍聴は、当日受付していただければ、どなたでも可能です。
寒川町議会のホームページでは、会議の日程や議会の傍聴案内、請願や陳情の手続き、議員名簿等が閲覧できます。
ご不明な点については、議会事務局へお問い合わせください。

議会事務局 総務担当
TEL0467-74-1111 (内)341・342



一般質問

議員9人が 町政を問う!

一般質問とは

皆さんの生活に関わる大切なことについて、町議会議員が町に対して質問を行うことです。各ページに掲載している二次元コードから一般質問の録画映像をご覧ください。スマートフォンやタブレットでご視聴ください。

- 1 小泉 秀輔 議員 P13
 - ・ 猛暑が続く夏に備え確かな熱中症対策を
- 2 福岡 正也 議員 P13
 - ・ 地域防災計画に基づく町の防災対応について問う
- 3 橋本 修一 議員 P14
 - ・ 企業誘致の現状と新たな可能性について問う
 - ・ 未来の事業を育てる起業環境整備について問う
- 4 馬谷原光織 議員 P14
 - ・ 学校給食の質の維持と地産地消の取り組みを問う
- 5 青木 博 議員 P15
 - ・ 無意識の偏見を乗り越え真の男女共同参画社会へ
 - ・ ゴミ収集の新体制スタート丁寧な周知と対話の継続を
- 6 廣田 淳生 議員 P15
 - ・ 「移動」に関する道路整備およびその手段について問う
- 7 山田 政博 議員 P16
 - ・ 町民が安心できる災害対策をせよ
 - ・ 町民が安心できる内水氾濫対策をせよ
- 8 太田真奈美 議員 P16
 - ・ 5 歳児健康診査の導入で発達支援体制の強化を
- 9 関口 光男 議員 P17
 - ・ より質の高い避難所の整備を

猛暑が続く夏に備え 確かな熱中症対策を



小泉 秀輔 議員



Q 町内における熱中症による救急搬送の発生状況は。

A 令和5年度は47名、令和6年度は50名、令和7年度5月1日から8月31日までは51名です。

Q 学校内における冷水機の設置など、児童生徒の水分補給は。

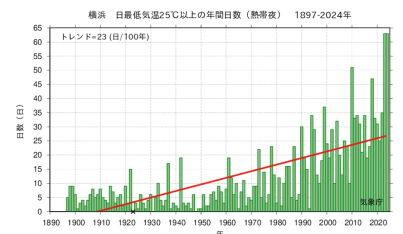
A 各小・中学校では、日頃から小まめに水分補給をするよう指導しています。特に体育や部活動の時間では、十分な水分補給ができるように健康観察を含めた休憩時間を設けています。また、熱中症対策として、水筒の中身についても水やお茶以外にスポーツドリンクも認めています。町教育委員会としては、今後も児童生徒が十分な水分補給ができるよう、冷水器の設置について検討をしています。

Q 町発注工事について、猛暑日が想定を超えた場合の納期は。

A 発注時点で猛暑日を含む天候等による作業不能日の年間発生率を考慮した工期を見込んで設定していますが、猛暑日の日数が契約工期で見込んだ日数を上回り、かつ作業休止せざるを得なかった場合には、工期の延伸が必要と考えます。

Q 熱中症対策費用の積算への盛り込みは。

A 土木工事について、令和7年7月1日より県の積算基準書が一部改定され、熱中症対策や防寒対策に関する費用について対策の妥当性を確認の上、^{積み上げ}積上計上を行うものとするのが盛り込まれました。営繕工事は令和5年度より公共建築工事共通費積算基準を適用した工事に限り、一般的な熱中症対策に関する項目は、共通仮設費率および現場管理費に含まれます。



地域防災計画に基づく 町の防災対応について問う



福岡 正也 議員



Q 大規模自然災害はいつ起きてもおかしくない状況である。その中で地域防災計画に基づいて町はどのような対応および町民への周知を行っているのか。

A 地域防災計画に基づく対応として、風水害に対する具体的な対応策や避難行動の指針を策定し、見直しを行っています。また、町民への周知については、防災に関する講演会の開催、町ホームページやSNSを通じた情報発信などを行うことで、町民の防災意識の向上に努めています。

Q 徒歩での移動が困難な要配慮者の搬送等について、専門ドライバーの支援や、専用装備車の活用等、搬送支援に関する町の取り組み状況は。

A 災害時における避難所等への搬送支援に関する協定については、要配慮者の特性に応じたドライバーや車両の確保の観点から、これまでのところ締結には至っていません。一方で、町避難行動要支援者きずなプ

ランにより避難行動要支援者名簿を作成することで、支援対象者を把握しています。また避難行動要支援者対策調整会議において、避難所等への避難の際に必要な個別避難計画の作成に向け具体的な検討を行っていくこととしており、今後要配慮者の特性に応じた実効性のある計画を策定していきます。

Q 令和4年度から始まった消防広域化に伴い、避難所の広域化も重要かと思うが町の取り組み状況は。

A 藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町において、避難所の広域化について話し合う機会を設けていますが、現時点では具体的な進捗には至っていない状況です。今後も近隣自治体との意見交換や連携を密にして、具体的な取り組みについて調査研究していきます。



企業誘致の現状と 新たな可能性について問う



橋本 修一 議員



Q 植物工場やスマート農業、AIを活用した先端産業の誘致について、町の考えは。

A 生産性の向上や労働力不足の解消、持続可能な農業につながる可能性が考えられます。地域経済の活性化や雇用創出を目指し、町の発展に寄与するさまざまな分野の企業誘致を進めていきたいと考えます。

Q 介護・医療・防災インフラ点検などを実用化するロボット産業の誘致について、町の考えは。

A 県では、相模川を中心とした地区をロボット産業特区として指定しています。ロボット関連企業の研究開発拠点や中規模製造拠点を誘致することは、地域振興の新たな柱となり得る可能性が高いと考えます。

Q 近隣には、JAXA宇宙科学研究所相模原や防衛・航空宇宙関連の拠点が立地している。航空・宇宙産業



や防衛産業の誘致について、町の考えは。

A 都市近郊の町においても、これらの産業に関する部品製造やサプライチェーンの拠点の可能性があることを認識しています。

未来の事業を育てる 起業環境整備について問う

Q 起業家精神や倫理観を育む取り組みは。

A 町教育委員会として、地域で活躍する社会人や地域の企業と直接関わる体験的学習活動を通してキャリア教育を推進しています。

キャリア教育で育む職業観の中には誠実さ、倫理観、責任感、公共心といった価値観も含まれてくるものと考え、粘り強さや責任感といった非認知能力の育成に力を入れ、多様な価値観に気付かせる教育を推進しています。

学校給食の質の維持と 地産地消の取り組みを問う



馬谷原 光織 議員



Q 物価高により食材費が上がる中での学校給食の質の確保について、町の考えを問う。

A 学校給食については、学校給食法に定められた目標が達成できるよう、栄養価だけではなく、食育の観点も含めて提供を行っていますが、学校給食の質の確保のため、令和4年度から物価高騰対策として一部公費による食材費負担を実施しています。今後も社会情勢等を注視し、必要な対策を行っていくよう努めていきます。

Q 学校給食の地産地消を推進する取り組みについて、町の考えを問う。

A 地産地消の取り組みについては、国の食育推進基本計画に学校給食における地場産物を使用する割合を現状から維持向上させることが目標の1つとして示されています。

町においても、さがみ農業協同組合との連携により、

寒川産の野菜等がより多く納品できるような体制を構築して地産地消を推進しているところであり、今後も継続していきたいと考えています。

Q 費用面での取り組みとは別に、献立や調理等において工夫した具体例は。

A 調理の工夫の具体例として、カツオの厚削りではなく、サバの厚削りを使用するなど、だしのバリエーションを増やし、これまで提供した料理と異なる料理と組み合わせることで、いつもの味よりもコクが出て従来と変わらぬおいしさで提供した例のほか、食材の調整の中で、食べやすくなるように一手間を加える例などがあります。このような工夫をすることで食材費の抑制に努めています。



ある日の学校給食
(町ホームページより)

無意識の偏見を乗り越え 真の男女共同参画社会へ



青木 博 議員



Q ジェンダーギャップ指数、国の低迷に対する町の認識は。

A 日本のジェンダーギャップ指数の低迷は、教育、経済、政治参画などの多くの分野における男女平等の遅れを反映しており、町としても、この問題の重要性を認識することが重要であると考えています。

Q 女性の管理職登用を阻む「無意識の思い込み」への町の認識は。

A 無意識の思い込みは一般的に、相手や周囲にネガティブな影響を及ぼす恐れのある他、ダイバーシティの推進をはじめ、リスクマネジメント上の重大な課題となり得るものと認識しています。



ゴミ収集の新体制スタート 丁寧な周知と対話の継続を

Q 衛生指導員廃止後の集積所問題、町と町民の連携策は。

A ごみ集積所を清潔に保つため、利用者の皆さんには、違反ごみが放置された場合に町に通報いただくなどの役割をお願いしています。

Q 今後、住民の声をどのように集め、町の施策に反映させていくのか。将来的な取り組みについての考えは。

A 今回の変更については、令和3年度と令和5年度に一部の地域で試験運用を行い、アンケート結果や自治会のご意見を踏まえ新しいルールとしてスタートしました。

今後もさまざまな場面で皆さまからご意見等をいただいきたいと考えています。引き続き清潔で住みよい生活環境の実現を目指して、町民の皆さんと共に協力して進めていきます。

「移動」に関する道路整備 およびその手段について問う



廣田 淳生 議員



Q 地域生活道路への通過交通の流入を減らすには、主要幹線道路の整備が重要である。県事業である都市計画道路3・3・3宮山線の整備についてその進捗は。

A 用地買収は、寒川町と藤沢市において令和7年6月時点で約4割弱まで進んでいるとのこと。町内での埋蔵文化財の試掘調査が秋ごろ予定されており、調査結果に基づき今後の予定が見えてくる見込みです。

Q 「ゾーン30プラス」などスピード抑制の考えは。

A 「ゾーン30プラス」の区域設定には、地域住民の同意や警察、道路管理者の意見が必要です。地域特性等から実施とはならなかった経緯がありますが、交通環境が変化していることを考慮し、総合的な安全対策も視野に入れ、通学路や危険箇所に対する柔軟な対応を進め、安全性の向上に取り組むと考えています。

Q 倉見駅や寒川駅南口周辺等の交通結節点での歩行者や自転車利用者等が安全に移動できる空間整備の考

え方は。

A 駅前広場には交通結節点の機能や都市の広場としての機能があると考え、歩行者優先の移動空間の確保、ユニバーサルデザインの導入、利便性に配慮する必要があると考えます。これらを踏まえ、地域のにぎわいの場や景観に調和したデザイン等を認識しながら駅周辺の特性を考慮して検討していきたいと考えます。

Q 移動困難者の方や、高齢化が進む地域の移動手段の確保、また、外出機会の喪失を防ぐための福祉・健康施策との連携強化の考えは。

A 移動困難者の方の機動性を確保することは、地域公共交通施策の大きな目的の1つです。福祉など関係部署と連携を図り、今後取り組みを進めます。



町民が安心できる災害対策をせよ



山田 政博 議員



Q 災害が起きた場合、被災者支援について、どのようなことを想定しているのか。

A 被災者支援について現在想定されている対応については、災害時職員行動マニュアルに基づき、地震発生からの時間経過に応じたフェーズごとに整理しています。

Q 県の地震被害想定報告書の改正内容は。

A 避難者数に関する数値等が変更されました。

Q 防災行政無線が、聞こえづらい場所の対策は。

A 防災行政無線放送内容確認ダイヤルにより、直前の放送内容を電話で聞き直せるよう対応しています。また、メール配信サービスや公式LINE、ホームページ上で放送内容を文字情報として確認できます。

町民が安心できる内水氾濫対策をせよ

Q 雨水対策に関する雨水整備は。

A 寒川町雨水管理総合計画に基づき取り組みを進めています。小谷および一之宮地内における雨水幹線の枝線整備や大村地区の雨水対策事業を継続的に実施しています。また、道路側溝の整備や清掃等の維持管理も行っています。開発行為においては、事前協議の際に宅地内の雨水は浸透ますなどの保水機能施設により開発区域内で処理するよう指導をしています。

Q 道路側溝のしゅんせつの基準は。

A 町民の方からの側溝清掃の依頼、また頻繁に道路冠水が生じる箇所については、梅雨や台風時期の前に職員による現場調査を行い、土砂堆積率が50%以上となっている箇所の側溝を優先的に清掃しています。



5 歳児健康診査の導入で発達支援体制の強化を



太田 真奈美 議員



Q 就学前の切れ目ない支援として3歳6か月以降の健康診査導入の時期に来ていると考える。乳幼児健康診査について町の認識と必要性を問う。

A 乳幼児健康診査は、子どもの成長の過程において適切な時期に発育や発達の状況を保護者と共に確認し、疾病や障がい早期発見・治療につなげる目的があります。成長の過程を確認し、相談を受けたり必要な支援を考えたりする機会として非常に重要な事業と認識しており、その必要性は高まるものと考えます。

Q 現状の取り組みと課題、今後の展望について伺う。

A 母子保健法の規定に基づき乳児期に2回、幼児期に3回の健康診査を医師会等にご協力をいただき実施しています。医療機関で実施する1か月児健康診査と集団形式の5歳児健康診査が、母子保健医療対策総合支援事業として令和5年12月の国の補正予算に計上されたことは、町としても承知しています。しかし、

5歳児健康診査については、健診の実施に必要な人材の確保などに課題があると考えます。町として、まずは1か月児健康診査を実施することとし、令和8年度の事業開始に向けて現在、準備を進めています。

Q 5歳児健康診査の導入に向けた町の姿勢を伺う。

A 3歳6か月児健康診査を最後に、就学児健康診断まで期間が空いています。5歳児健康診査は、この間の精神発達や社会性の発達、行動面の発達を評価することで、必要に応じて医療、福祉、教育等のフォローアップにつなげることができ、切れ目のない子育て支援の一環としても必要性があるものと認識しています。今後実施に向けてどう町としてどのように取り組めるのか、調整を進めていきたいと思っています。



5歳児健診ポータルサイトより
(画像の使用については、子ども家庭庁研究班より許可を得ています。)

より質の高い避難所の整備を



関口 光男 議員



Q 町民の命を守り、安心して生活を送るための避難所の現状と課題について、町の見解は。

A 町内10カ所の広域避難所を指定し、平時から避難所従事職員、学校関係者、地域住民と訓練などを行い、迅速に開設できるよう備えています。課題は、要配慮者の受け入れ、ペット同行避難、避難所外の避難者への対応、熱中症対策などがあると認識しています。

Q 福祉避難所が無いのであれば、福祉事業所との提携、既存施設の活用、新たに建設などが必要と考えるが、町の見解は。

A 福祉避難所ニーズの高まりは認識しています。今後、公共施設の再編を進める中で、設置の検討、避難所の要配慮者スペースの拡充、町内の事業所と事前に協定を締結し、災害の規模や避難者の人数に応じて臨時的な福祉避難所機能を確認するなど、全ての避難者が安心して避難生活を送れるよう努めます。

Q 避難所の冷房について、現状は。

A 令和4年度に町内全ての小・中学校の体育館に4台ずつスポットクーラーを設置し、寒川高校の体育館にも設置されていることを県に確認しています。また、シンコースポーツ寒川アリーナには、既に冷房設備が設置されています。

Q 避難所の質の向上にはしっかりと冷房空調設備が必要と考えるが、町の見解は。

A 避難所の機能強化は非常に大事なことで捉えています。避難所における機能として、現状ではスポットクーラーを活用していますが、十分な室温管理ができないこともあります。そのような中、国からの交付金の話もあるため、このチャンスを逃さず、ぜひ速やかに進めていきたいと考えています。

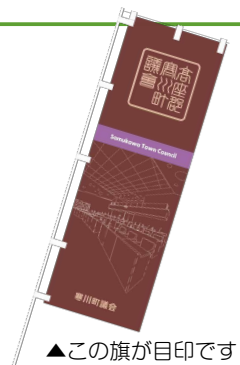


冷房空調設備のイメージ
(シンコースポーツ寒川アリーナ)

寒川町産業まつりにブース出店します

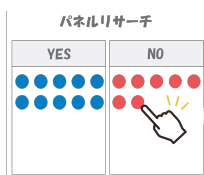
令和7年11月16日(日)開催予定の町産業まつりに、広報広聴委員会を中心に寒川町議会として初めてブース出店を行います。

出店コンセプトは「見える議会 聞こえる声」です。町議会を知っていただくとともに、皆さんの声を聞かせていただきたいと思います。ぜひお立ち寄りください。



▲この旗が目印です

クイズ&リサーチコーナー



クイズに答えて
デジタルスタンプをGET!

- ・クイズ
- ・パネルリサーチ

トークコーナー



お話ししましょう♪

- ・スピードストーミング

フォトコーナー



PHOTO SPOT

みんなでパシャリ★

- ・フォトプロップス
- ・SNSパネル

出店内容は予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

寒川町福祉団体協議会と意見交換会を行いました

文教福祉常任委員会では8月18日(月)、町福祉団体協議会と意見交換会を行いました。



バイオ生ごみ処理機(寒川学校給食センター)を 現地踏査しました

9月10日(水)、文教福祉常任委員会および有志の議員は、寒川学校給食センターに新しく配備されたバイオ生ごみ処理機を現地踏査しました。



一般社団法人寒川町観光協会と意見交換会を行いました

建設経済常任委員会では10月7日(火)、一般社団法人寒川町観光協会と意見交換会を行いました。

<議題>
寒川町観光協会の今後の方向性について



寒川町議会ユーストークcaféを開催します

さむかわ議会だより第215号で開催をお知らせした寒川町議会ユーストークcaféについて、詳細が決定しましたのでお知らせします。皆様のご参加を、心よりお待ちしております！

- ・日時：令和8年1月24日(土)
午後1時30分から午後3時まで
- ・会場：寒川町民センター展示室1・2
- ・対象：中学1年生から25歳未満の人
- ・定員：30名
- ・内容：カードゲームを使った議員との意見交換会



昨年度の様子

▲ホームページ

行政視察の受け入れ

町議会では、当町の各事業について、他議会からの視察受け入れを行っています。令和6年10月から令和7年9月末までの間で、12団体の議会が当町を視察されました。

<2024年>

自治体名	視察日	内 容
岩手地区議会議長会	10月9日	● 議会改革の進め方の検討方法について ● 寒川町議会オープントークcaféについて ● 関係団体との意見交換会の実施について
千葉県東庄町	10月24日	● タブレット端末導入による議会運営、寒川町議会オープントークcaféについて
静岡県御殿場市	11月11日	● 議会基本条例制定に向けて
神奈川県愛川町	11月12日	● 意見交換会について
北海道後志町村議会議長会	11月14日	● 議会のペーパーレス化について
静岡県島田市議会	11月18日	● 「のぞいてみよう 寒川町議会親子探検ツアー」について ● 議会だよりについて

<2025年>

自治体名	視察日	内 容
兵庫県南あわじ市議会	4月24日	● 議会だよりの編集と広報広聴の取組について
新潟県聖籠町議会	5月14日	● 消防団活性化のための取り組み・活動について
鹿児島県指宿市議会	5月20日	● エコノミックガーデニングについて
北海道栗山町議会	5月26日	● 住民に開かれた議会の実践について
岡山県笠岡市議会	7月23日	● 移住・定住促進の取組について
埼玉県上尾市議会	8月6日	● 寒川学校給食センターについて



広告

◆ 登 記

(相続、贈与、抵当権抹消、会社)

◆ 裁判書類

柳川事務所

費用概算お見積り無料
お気軽にご相談下さい

ご自宅、職場へ
訪問致します

寒川町岡田1丁目1-9 佐藤ビル2階

☎ 0467-73-1173

✉ spx55mn9@tea.ocn.ne.jp

寒川駅北口 P 有り

12月会議日程

日	月	火	水	木	金	土
11/23	24	25 本会議 (議案上程等)	26	27	28 本会議 (議案質疑等)	29
30	12/1 総務常任 委員会	2 文教福祉 常任委員会	3 建設経済 常任委員会	4	5 都市未来拠点・ 新幹線新駅対策 特別委員会 公共施設再編整備 対策特別委員会	6
7	8	9 本会議 (一般質問)	10	11	12	13
14	15 本会議 (委員長報告等)	16	17	18	19	20

午前9時開会(会議の日程等は変更になる場合があります)

※12月5日(金)公共施設再編整備対策特別委員会は午後1時15分開会

※12月15日(月)本会議は午前10時開会

議会ラボ #7

#6のおさらいクイズ!

ちょうちょう ていあん たい
町長からの提案に対して、
ぎ かい さんせい はんたい い し
議会が賛成・反対などの意思
けつてい
を決定することを、なんという
でしょうか。

- ① かけつ 可決 ② けつてい 決定 ③ ぎ けつ 議決

ヒントは
ぎ かい
議会ラボ #6にあるよ!



議会ってなあに?

まち ぎ かい くに かんけい
町議会と国の関係って?
ぎ かい まち ちょうみん り えき
議会は、町や町民の利益の
くに
ため国にしてほしいことがある
ときは、それを求める意見書
もと い けんしよ
を国に提出することができま
くに ていしゅつ
す。

まち ぎ かい ていしゅつ
これまで町議会が提出し
い けんしよ に じ げん
た意見書は、二次元コー
ドから見えてみてね!

